

事業計画書
収支予算書

第 17 期

自 2026年4月 1日
至 2027年3月31日

事業計画書

第 17 期

自 2026年4月1日 至 2027年3月31日

当財団は、愛知県内の自然科学分野の研究開発に対する研究費の助成及び文化・芸術活動に対する支援、美術館の運営等を行うことによってその振興を図り、地域社会の活力ある発展に貢献することを目的としています。

2026年度は、理事会の承認のもと、研究助成を中心として、以下の5事業を実施いたします。

第1部 第35回研究助成事業（予算156,510千円）

2020年以降のコロナ禍においては、主に医学分野を対象とした助成活動を行ってまいりましたが、今年度より自然科学分野全般へと助成事業の対象範囲を拡大いたします。

愛知県内の大学および研究機関に所属する将来性ある若手研究者、及び独創的かつ先駆的な研究プロジェクトに取り組む研究者および研究グループに対して助成を行います。

助成金は総額150,000千円を交付いたします。

なお、研究助成事業に関わる運用費として、6,510千円の予算を計上します。

第2部 現代美術の支援に関する事業

第17期は企画しておりません。

第3部 堀美術館事業（予算21,600千円）

「文化のみち：堀美術館」を運営し、地域社会の文化振興に努めます。藤田嗣治・梅原龍三郎など、「エコール・ド・パリ（パリ派）」に属する芸術家の作品並びに棟方志功・加山又造・横山大観などの近代日本画を代表する芸術家の作品を展示します。

美術品の保存・展示のため、2026年度は21,600千円の予算を計上します。

又、本年度は美術品・絵画収集に160,000千円を、収蔵作品充実資金として300,000千円の積み立てを予定しています。

第4部 講演会事業

第17期は企画しておりません。

第5部 海外留学奨学金事業（予算1,000千円）

新たな公益事業として、本年度より海外留学奨学金事業を開始いたします。初回の奨学生は、2027年度（2027年4月以降）に留学を開始する学生を対象といたします。

その準備として、本年度はまず、愛知県内の主要大学・研究機関ならびに海外留学支援団体等との協議を行い、最終的な募集要項を策定いたします。

その後、本年10月に募集を開始し、翌年3月に奨学生を決定、翌年度より奨学金の支給を開始する予定です

以上